

講義名	研究演習Ⅱ				
講義コード	45427	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
担当教員	森脇 丈子			ナンバリング・コード	SEM350
学部・学科				演習分野	
全学部全学科				消費者問題の視点からみた生活経済の分析	
概要説明					
私たち消費者は、どのように社会との関わりを持ちながら生活しているのでしょうか。購買意欲をそえられる商品やサービスとそれを購入する消費者、収入を得るために働く労働者、企業を運営する経営者や幹部、退職した人、何らかの形で他者からの助けを受けながら生活する人などさまざまです。私たちの生活にとって、より安定的で快適な消費の形について、消費や労働の側面から研究していきます。					
☆適切な日本語の使い方、わかりやすいプレゼンの仕方、他者の話を聞き自分の考えを論理的に述べることのできる力、課題に必要な資料の探し方・活用の仕方を身につけていきます。テーマは、学生の関心のある領域をとりあげていきます。					
☆学内・学外での「実学」（社会共創企画）にぜひチャレンジしてください。					
【授業のイメージ】					
・第1回～第5回：本や新聞記事を用いて、生活や消費に関連するテーマについて議論します。議論するための準備として、前もって宿題で単語を調べたり、わからないことを調べたりします。自分で質問を準備したり、考えをまとめて人前で発表できるようにしてください。					
・第6回～第15回：本や新聞記事をもとに、報告をつくってもらいます。報告の作り方は授業の中で説明します。報告では、自分で調べたこと、疑問点、みんなで議論したいことなどを提示してもらいます。					
※社会共創企画に参加する場合には、企画の準備を優先することがあります。					

評価方法	
ゼミでの報告と議論への参加による総合評価です。	
《注意》ゼミに出席しているだけでは、合格点をもらえません。宿題をしてこない人、発言をしない（議論に参加しない）人、無断欠席をする人は、単位が修得できません。	
教員英字氏名	研究室
MORIWAKI Takeko	研究棟Ⅴ 4階 5411
最終学歴	
立命館大学大学院経済学研究科博士課程後期課程(単位取得満期退学)	
学位	
経済学修士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
・生活経済論、消費経済論 ・消費生活の日仏比較 ・フランスの小売業、地域に根づいた生産・消費共同体の調査・分析	
趣味・特技	
・街中散歩、山歩き ・映画鑑賞 ・海外ニュースのチェック	
所属	
経済学部 経済学科	
所属学会	
・日本流通学会 ・日仏社会学会 ・日仏経営学会 ・日本消費経済学会 ・経済理論学会	
専門分野	
・生活経済論、消費経済論、社会経済学	
担当科目	
〈講義科目〉消費者問題論、 NPO論、 生活構造論、 経済学入門、 アミューズメント事業論、英語で学ぶ経済 〈演習科目〉研究演習Ⅰ、 研究演習Ⅱ、 卒業演習 〈その他〉公務員特別演習Ⅱ、業界研究（官公庁）	
備考	
上記の「担当科目」うち、＜講義科目＞のなかから必ず一つ以上受講してください。	
実務経験の有無及び活用	